



密着銅コアハンディ挿入機

20mm用
25mm用



株式会社

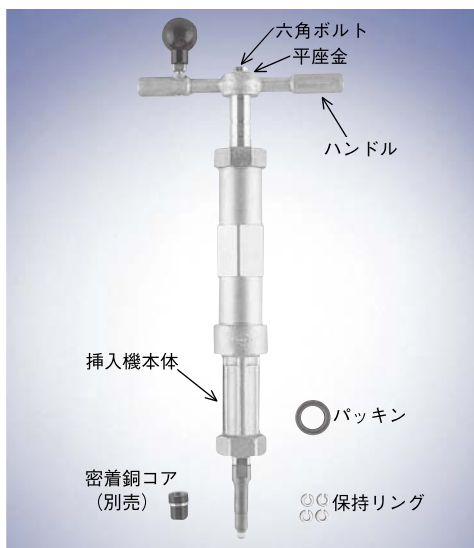
素敵な創造～人へ・未来へ

日邦バルブ

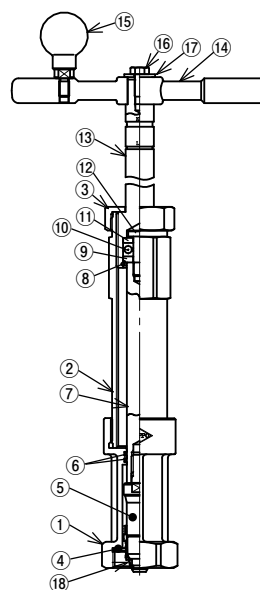
特長

- 口径毎の専用タイプですので、操作が簡単で作業効率が飛躍的に上がります。
- 挿入作業はハンドルを回すだけで、複雑な作業はありません。
- 挿入棒への密着銅コアの装着はワンタッチです。
- ハンドルの代わりにボックスレンチを使用することもできます。
(上部スピンドルのハンドルとの嵌合部は幅19mmの六角となっています。)

構造



品番	部品名	材質
1	本体	青銅
2	胴	青銅
3	止めナット	青銅
4	パッキン	合成ゴム
5	挿入棒	炭素鋼
6	Oリング	合成ゴム
7	下部スピンドル	SUS
8	止めリング	SUS
9	下部座金	炭素鋼
10	スラストベアリング	クロム鋼
11	上部座金	炭素鋼
12	接続ボルト	炭素鋼
13	上部スピンドル	黄銅
14	ハンドル	アルミニウム
15	回転グリップ	合成樹脂
16	六角ボルト	SUS
17	平座金	炭素鋼
18	保持リング	合成樹脂



ご使用に際して

- 下記の構成部品が揃っていることをご確認ください。

名称	数量	名称	数量
挿入機本体	1	パッキン	2 内、1個は挿入機に装着されています。 1個はスペア一分です。
ハンドル	1		
六角ボルト	1	保持リング	5 内、1個は挿入機に装着されています。 4個はスペア一分です。
平座金	1		

- 当社の密着銅コア (L,S) 専用です。これ以外のコアは使用できません。
- 口径毎の専用タイプです。分水栓の止水機構と同じ呼び径のものをご使用下さい。
- 分水栓の機種に対応する標線は下記の通りです。表以外の分水栓では標線は目安となりません。

表示	標線の幅	使用可能なサドル付分水栓
K	広い	当社 JWWA B 117 規格品、及びボール式サドル分岐栓Ⅱ型
L	狭い	当社 浅層埋設対応サドル付分水栓

- 穿孔機用ドリル・カッターは下記の錐径のものを必ず使用して下さい。また、穿孔後は切粉の排出を十分に行って下さい。

呼び径	錐径 mm	呼び径	錐径 mm
20	18.1~18.3	25	23.1~23.3

取扱上の注意事項

- ねじ部は鋭利なため、直接素手で触らないで下さい。軍手等をして作業して下さい。
- 本機を分解、改造しないで下さい。
- 直接地面に置いたり、取り扱い中における投げ出し、落下等により損傷を与えないで下さい。損傷や変形などは、漏水や故障の原因となります。
- 使用後は水分、土、砂等の付着物を十分拭き取った上、保管して下さい。

密着銅コア装着の手順

●以下の手順に従って作業を行って下さい。

1

挿入棒
保持リング
バッキン
本体

挿入棒先端に保持リング、本体にバッキンが装着されていることを確認します。保持リングが破損していたり、バッキンが止水できないほど損傷している場合には交換して下さい。

2

密着銅コア
パチンと音がするまで押し込む

密着銅コア(S又はL)を取り付けます。パチンと音がするまでコアを押し込み、保持リングからコアが外れないことを確認して下さい。

3

ハンドル左回転
ハンドル
挿入棒
最上端まで引き上げる

ハンドルを取付け左回転させ、挿入棒を最上端まで引き上げます。

4

レンチ掛け
弁開栓、左に90°回す(図は開栓した状態)

挿入機をサドル付分水栓に取り付け、レンチ等で締付けます。この時、レンチ等は図に示す「レンチ掛け」に掛けて締付けて下さい。続いてサドル付分水栓のボール弁を開栓します。この時、弁は**必ず全開にして下さい**。

5

ハンドル右回転
挿入
挿入棒
ツバ
鑄鉄管
コアのツバが穿孔穴上面に当たる

ハンドルの回転グリップを握り右回転させると、挿入棒が降りていきます。コアのツバが鑄鉄管穿孔穴上面に当たるまで、ハンドルを右回転させます。

6

挿入棒
コア下部拡径

続いて、ハンドルを両手でつかんで徐々に右回転させると、挿入棒の下部テーパ面がコア下部を押し広げ、外側に反り返らせます。

7

コア胴部拡径
穿孔穴内面に密着

更にハンドルを右回転させると、挿入棒によりコア胴部が外側に押し広げられ、穿孔穴内面に密着します。
トルク目安：16～35N・m (1.6～3.6kgf・m)

8

ハンドル
標線
(図はJWWA規格品、及びII型の場合)
止めナット
コア上部拡径
サドル付分水栓内面に密着

更にハンドルを右回転させると抵抗が大きくなります。挿入棒の上部のテーパ面がコア上部を押し広げ、サドル付分水栓内面に密着します。**特に強いトルクを感じるまでハンドルを回し、標線が本体端面とほぼ一致しているか確認して下さい**。
トルク目安：30～40N・m (3.0～4.1kgf・m)

9

ハンドル左回転
ハンドルが止まった時
挿入棒先端はサドル上端付近
弁開栓、右に90°回す(図は閉栓した状態)

ハンドルが止まるまで左回転させ、挿入棒を引き上げます。ハンドルが止まると、挿入棒は図の位置まで上がっています。サドル付分水栓のボール弁を閉にし、挿入機を取り外します。

素敵な創造～人へ・未来へ

株式会社 日邦バルブ

本社・松本工場 〒399-8750 松本市笹賀3046
北海道工場 〒059-1362 苫小牧市柏原6-120
ホームページ <http://www.nippov.co.jp/>

お問い合わせ先

東京支店	TEL.03-5338-2231	松本営業所	TEL.0263-28-5977
札幌営業所	TEL.011-232-0471	名古屋営業所	TEL.052-735-6511
仙台営業所	TEL.022-213-3177	大阪営業所	TEL.06-6354-1057
北関東営業所	TEL.0283-22-7547	広島営業所	TEL.082-232-8117
神奈川営業所	TEL.042-741-7121	福岡営業所	TEL.092-472-5128

ISO 9001 認証取得

ここに記載した内容は予告なく変更することがあります。
又、許容差のない数値は標準値を示します。呼び寸法・呼び径と実寸法とは同一ではありません。